

# 令和4年度湯梨浜町全国学力・学習状況調査結果の概要

令和4年9月公表

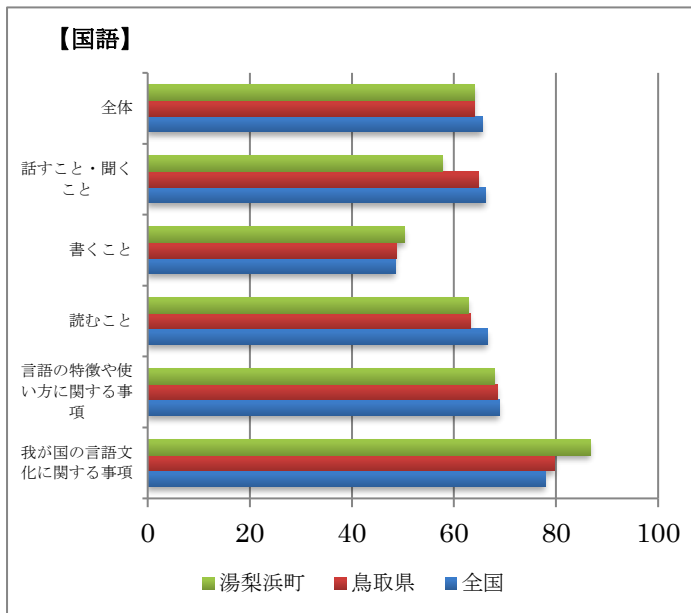
## 【小学校】教科に関する調査から ～国語・算数・理科～

上段：平均正答率（％） 下段：平均正答数（問）

	湯梨浜町	鳥取県	全国
<b>国語</b>	<b>64</b>	<b>64</b>	<b>65.6</b>
全 14 問	8.9/14	9.0/14	9.2/14
<b>算数</b>	<b>58</b>	<b>62</b>	<b>63.2</b>
全 16 問	9.4/16	9.8/16	10.1/16
<b>理科</b>	<b>60</b>	<b>63</b>	<b>63.3</b>
全 17 問	10.1/17	10.6/17	10.8/17

(県・町の数値は小数点を四捨五入した整数で公表)

○正答率が高い主な項目、●正答率が低い主な項目

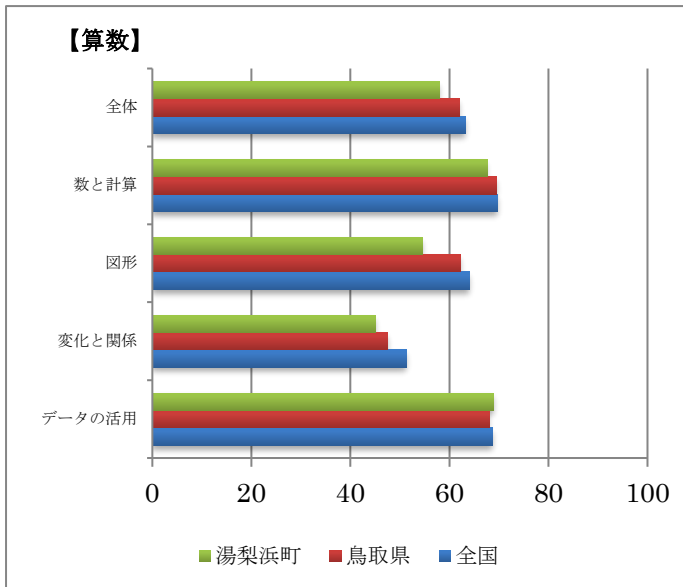


### 【国語】

全体の平均正答率は、全国・鳥取県と同程度でした。

○「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」などの「書くこと」に関する問題がよくできていました。

●「立場や意図を明確にして話し合い、自分の考えをまとめる」などの「話すこと・聞くこと」、「登場人物の行動、人物の相互関係を叙述や描写をもとに捉える」などの「読むこと」に課題があります。

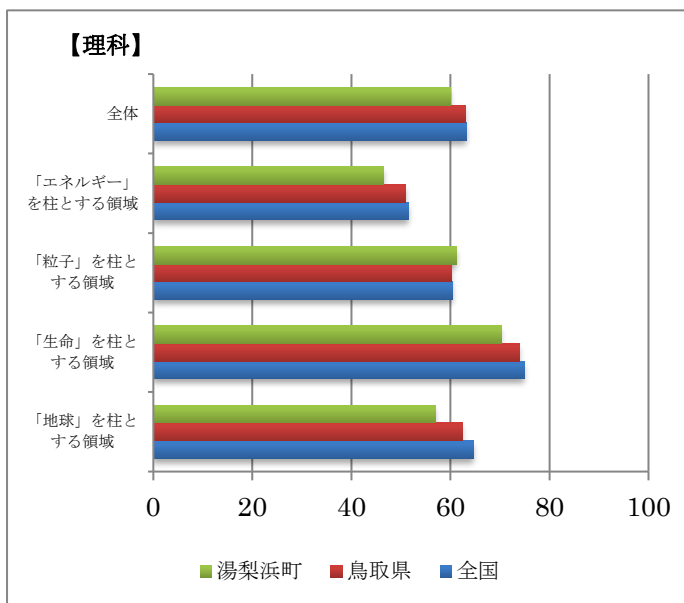


### 【算数】

全体の平均正答率は、全国・鳥取県よりやや低い結果でした。

○「目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取る」ことができていました。

●プログラムに関する問題が出題された「図形」、割合に関する問題が出題された「変化と関係」において、どのように考えたのかを図や式などを用いて自分の言葉でまとめたり、作図の仕方を筋道を立てて説明したりすることに課題があります。



### 【理科】

全体の平均正答率は、全国・鳥取県よりやや低い結果でした。

○実験に関する器具やその扱い方についてよく理解できていました。

●光の性質に関する問題が出題された「エネルギー」、温度の変化に関する問題が出題された「地球」に関する分野について、実験後、なぜそうなったのか結果の考察をしたり、習得した知識を使って、日常生活での事象を考えたりすることに課題があります。

全国平均正答率に比べ、±3%未満を同程度、±3%以上 8%未満をやや上回る（やや下回る）、±8%以上を上回る（下回る）と表現しています。

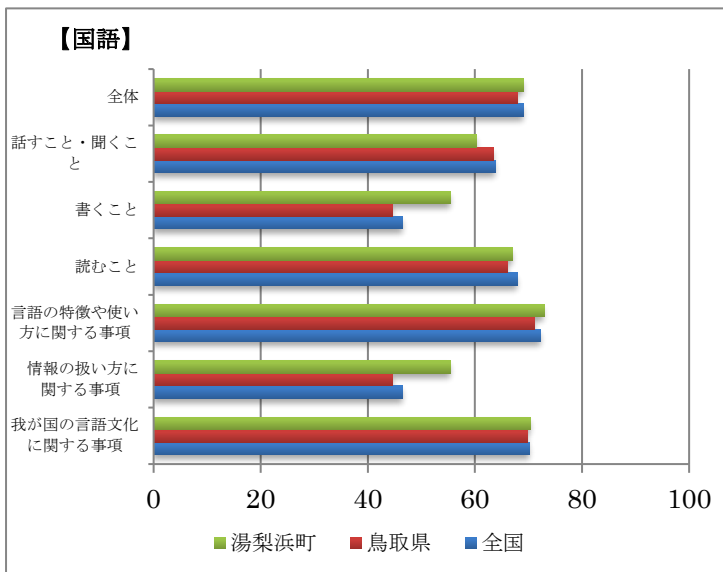
【中学校】教科に関する調査から ～国語・数学・理科～

上段：平均正答率（％） 下段：平均正答数（問）

	湯梨浜中	鳥取県	全国
国語	69	68	69.0
全 14 問	9.7/14	9.5/14	9.7/14
数学	48	51	51.4
全 14 問	6.7/14	7.1/14	7.2/14
理科	46	49	49.3
全 21 問	9.7/21	10.3/21	10.4/21

(県・町の数値は小数点を四捨五入した整数で公表)

○正答率が高い主な項目、●正答率が低い主な項目

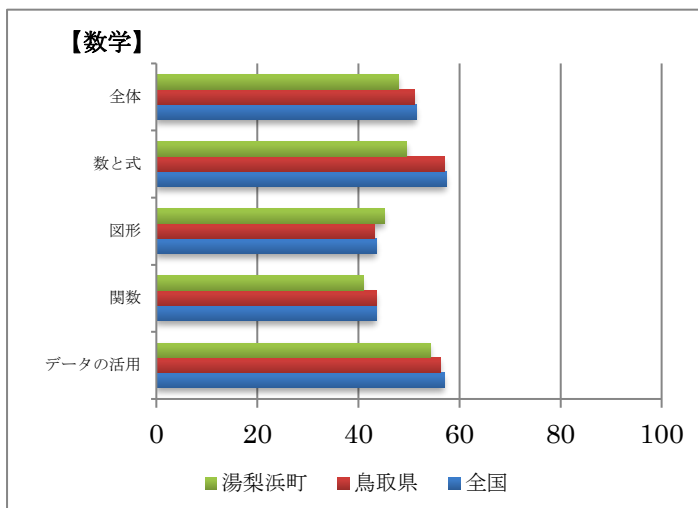


【国語】

全体の平均正答率は、全国・鳥取県と同程度でした。

○「自分の考えが伝わるよう根拠を明確にして書く」などの「書くこと」に関する問題がよくできていました。

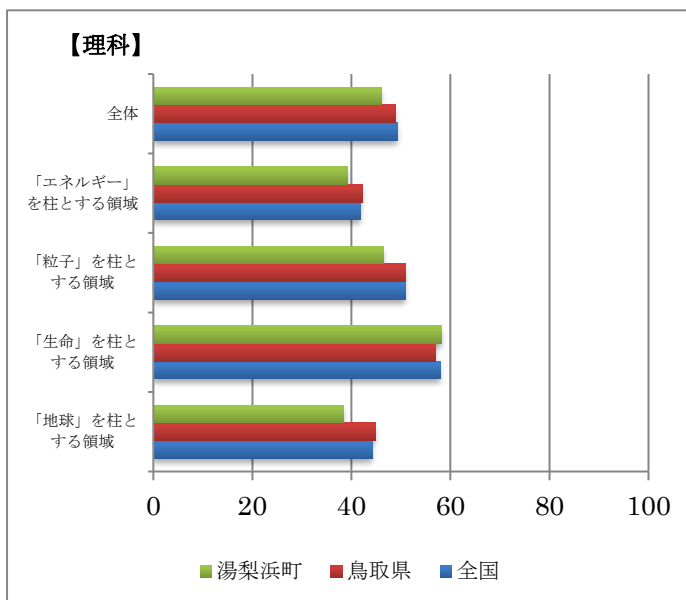
●「論理の展開などに注意して聞く」などの「話すこと・聞くこと」において、課題がありました。



**【数学】**

全体の平均正答率は、全国・鳥取県よりやや低い結果でした。

- 「図形」において、反例の意味を理解することができていました。
- 「数と式」の分野において、結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし説明する、事柄が成り立つ理由を説明することなどに課題がありました。



**【理科】**

全体の平均正答率は、全国・鳥取県よりやや低い結果でした。

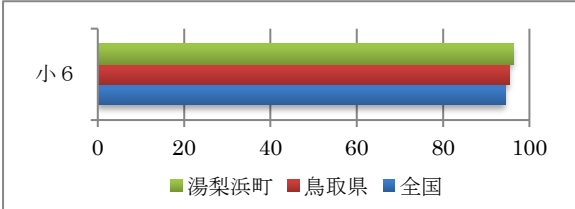
- 生物の体のつくりと働きなど出題された「生命」の分野において、生物を分類する際、観点と基準を明確にして判断することができていました。
- 気象の変化、大地の成り立ちと変化に関する問題が出題された「地球」の分野において、データを用いた考察について、多面的、総合的に考えて解釈していくことに課題があります。

全国平均正答率に比べ、±3%未満を同程度、±3%以上 8%未満をやや上回る（やや下回る）、±8%以上を上回る（下回る）と表現しています。

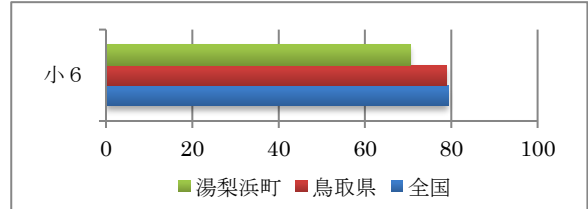
## 質問紙調査から ～学習習慣や生活習慣などに関する質問～

### 【小学校】

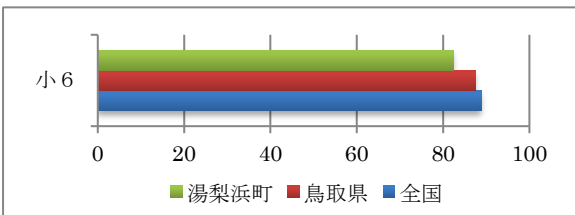
○朝食を毎日食べている



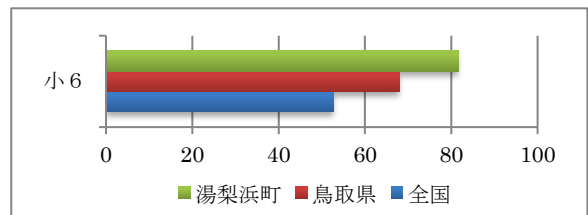
○自分には、良いところがあると思う



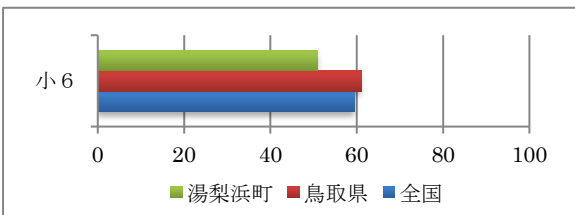
○人が困っているときは、進んで助けている



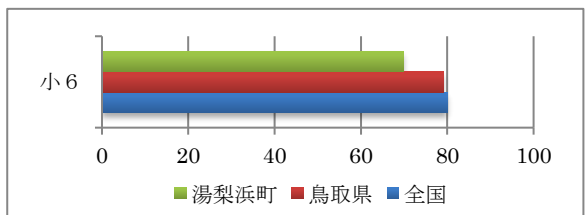
○今住んでいる地域の行事に参加している



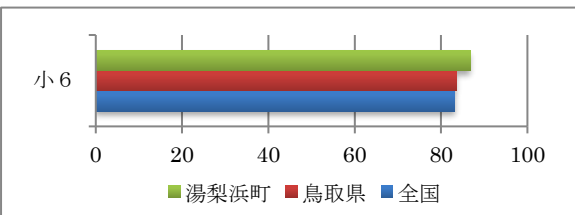
○学校の授業時間以外に、平日1日1時間以上勉強している



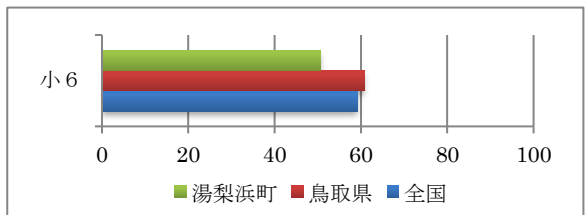
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



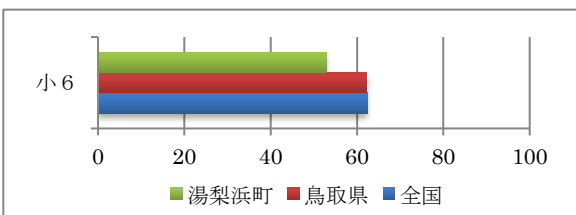
○授業でタブレットなどのICT機器を、週に1回以上使用した



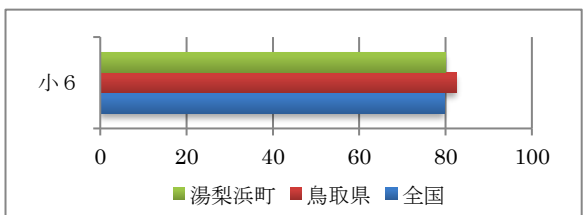
○国語の勉強が好き



○算数の勉強が好き

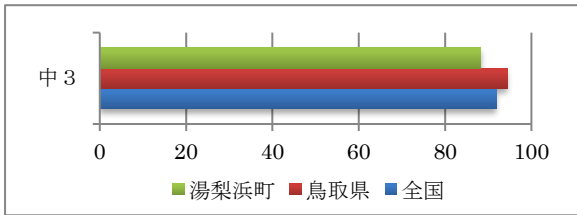


○理科の勉強が好き

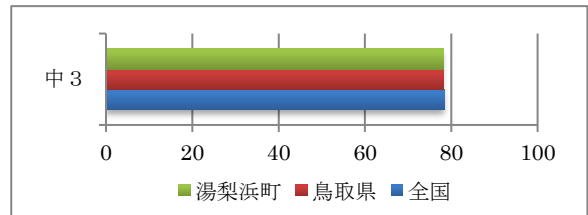


【中学校】

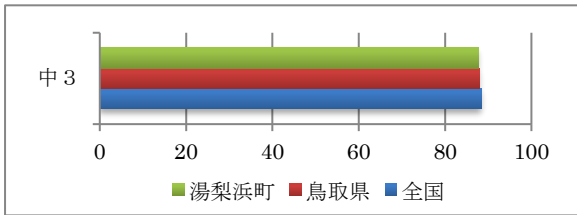
○朝食を毎日食べている



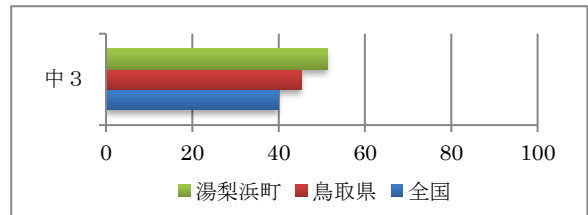
○自分には、良いところがあると思う



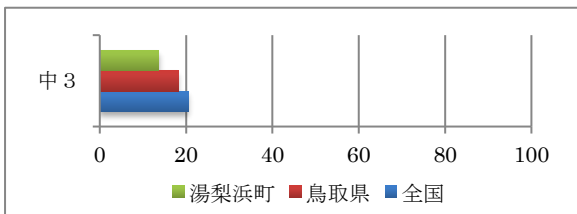
○人が困っているときは、進んで助けている



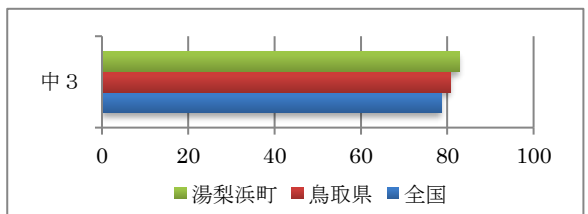
○今住んでいる地域の行事に参加している



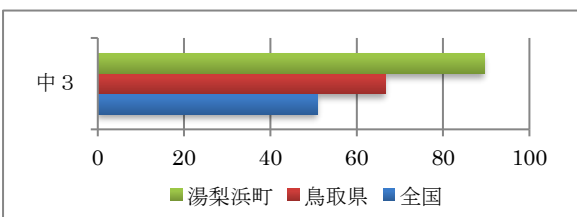
○学校の授業時間以外に、平日1日2時間以上勉強している



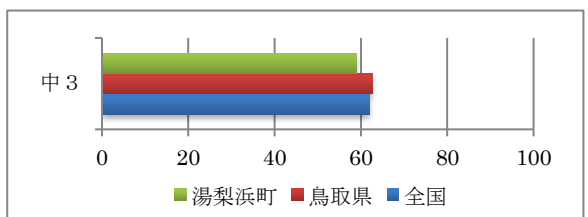
○学級の生徒達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



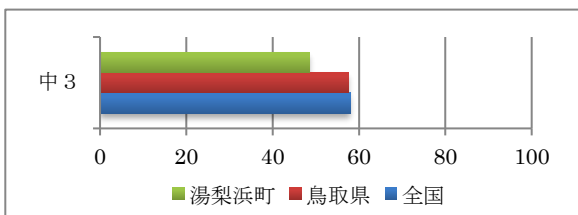
○授業でタブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した



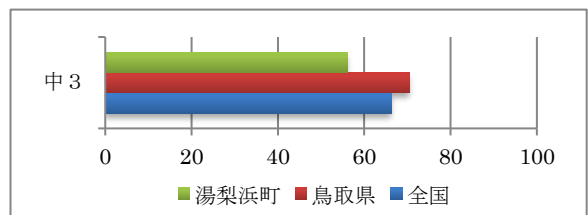
○国語の勉強が好き



○数学の勉強が好き



○理科の勉強が好き



## 【概要と今後の取組について】

学力調査は、今年度は小学校では国語、算数、理科、中学校では、国語、数学、理科が実施されました。湯梨浜町立小学校の結果は、全国平均と比較して国語は同程度、算数・理科はやや低い結果でした。また、湯梨浜町立中学校は、国語は同程度、数学・理科はやや低い結果でした。

分野別の結果について、小学校国語では「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」などの「書くこと」に関する問題において、全国平均と比べ高い結果でした。「立場や意図を明確にして話し合い、自分の考えをまとめる」などの「話すこと・聞くこと」、「登場人物の行動、人物の相互関係を叙述や描写をもとに捉える」などの「読むこと」において、全国平均より低い結果でした。小学校算数では、プログラムに関する問題が出題された「図形」、割合に関する問題が出題された「変化と関係」において、全国平均より低い結果でした。小学校理科では、光の性質に関する問題が出題された「エネルギー」についての分野が全国平均よりやや低く、温度の変化に関する問題が出題された「地球」についての分野が全国平均より低い結果でした。

中学校国語では、「自分の考えが伝わるよう根拠を明確にして書く」などの「書くこと」に関する分野において全国平均をより高い結果でした。「論理の展開などに注意して聞く」などの「話すこと・聞くこと」において、全国平均よりやや低い結果でした。中学校数学では、「事柄が成り立つ理由を説明する」などの「数と式」の分野において、全国平均より低い結果でした。中学校理科では、気象の変化、大地の成り立ちと変化に関する問題が出題された「地球」についての分野が全国平均より低い結果でした。

全体として、本町の小中学校の児童生徒は、基礎的・基本的な部分については力がついてきています。しかし、なぜそうなったか考えたり、自分の考えを説明したりするなどの思考力・判断力・表現力に課題があります。このような課題があるため、記述式の問題において正答率も低くなっています。

今後、筋道を立てて考え自分の考えをまとめる、互いの考えを比べる、根拠をもとに説明するなど、一人一人が自分の考えをもって伝え合う活動をさらに充実させていきます。

また、児童生徒が落ち着いた学校生活を送り、教師や他の児童生徒と築いた良好な関係を土台として、力を伸ばしていけるよう取り組んでいきます。

学習状況調査では「地域の行事に参加する」割合が、小中学校とも全国平均を10ポイント以上上回りました。学校の授業時間以外に学習する時間（小学校1時間以上、中学校2時間以上）については、小中学校とも全国平均を8ポイント以上下回りました。

町教育委員会では、町内の小中学校と連携し、今回の結果を踏まえた授業改善とともに家庭教育のさらなる充実をめざして取り組んでいきます。